

<県産農林水産物の認知度について>

【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきますと思います。

【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1(1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=1,932)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡いちじく」	28.8%	(104名)
2 いちじく「とよみつひめ」	56.8%	(205名)
3 いちご「博多あまおう」	95.8%	(346名)
4 みかん「福岡みかん」	31.0%	(112名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	7.2%	(26名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	8.9%	(32名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	23.8%	(86名)
8 なし「福岡なし」	21.9%	(79名)
9 柿「福岡のかき」	31.3%	(113名)
10 柿「秋王」	23.5%	(85名)
11 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	16.3%	(59名)
12 キウイフルーツ「博多甘熟娘(はかたうれっこ)」	10.8%	(39名)
13 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	13.9%	(50名)
14 もも「福岡のもも」	7.8%	(28名)
15 すもも「福岡のすもも」	4.2%	(15名)
16 なす「博多なす」	33.5%	(121名)
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	64.5%	(233名)
18 トマト「博多のトマト」	14.4%	(52名)
19 レタス「福岡レタス」	12.7%	(46名)
20 なばな「博多な花おいしい菜」	9.4%	(34名)
21 きゅうり「博多きゅうり」	9.7%	(35名)
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	8.0%	(29名)
23 いずれも知らない	0.8%	(3名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代		18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	5.9	4.6	0.0	0.0	4.0	4.7	3.9	4.3	3.6	5.5	4.0	7.7	4.3	6.7	7.1	8.8	5.1

○結果の概要

柿「福岡のかき」、ねぎ「博多万能ねぎ」などは、昨年に比べ大きく認知度が向上している。

1(2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉他)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=2,577)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉他)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 米「夢つくし」	91.1%	(329名)
2 米「元気つくし」	82.5%	(298名)
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	47.6%	(172名)
4 しめじ「博多ぶなしめじ」	50.7%	(183名)
5 えのきだけ「博多えのき」	24.4%	(88名)
6 むめりすぎたけ「博多すぎたけ」	1.7%	(6名)
7 「県産たけのこ」	21.1%	(76名)
8 「県産しいたけ」	14.7%	(53名)
9 緑茶「福岡の八女茶」	83.1%	(300名)
10 緑茶「八女伝統本玉露」	34.1%	(123名)
11 畳表「博多華織(はかたかおり)」	19.1%	(69名)
12 鶏肉「はかた地どり」	73.7%	(266名)
13 鶏肉「はかた一番どり」	69.5%	(251名)
14 牛肉「博多和牛」	34.1%	(123名)
15 牛肉「福岡牛」	12.2%	(44名)
16 豚肉「博多すいとん」	8.0%	(29名)
17 獣肉「ふくおかジビエ」	11.9%	(43名)
18 「県産牛乳」	33.5%	(121名)
19 いずれも知らない	0.8%	(3名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	7.6	6.5	0.0	0.0	6.5	7.0	5.8	7.1	6.7	7.3	6.2	8.9	5.9	7.7	7.7	8.6	6.3

○結果の概要

特に、しめじ「博多ふなしめじ」、緑茶「八女伝統本玉露」、牛肉「博多和牛」などは、昨年に比べ大きく認知度が向上している。

1(3) 県産農林水産物の銘柄(水産)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=1,512)

県産農林水産物の銘柄(水産)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 「福岡有明のり」	72.6%	(262名)
2 「豊前海一粒かき」	42.9%	(155名)
3 「糸島カキ」	72.9%	(263名)
4 「唐泊恵比須かき(からとまりえびすかき)」	12.5%	(45名)
5 「津屋崎干軒かき」	8.3%	(30名)
6 「若松妙見かき」	4.7%	(17名)
7 「豊前本ガニ」	20.5%	(74名)
8 「鐘崎天然とらふく」	23.0%	(83名)
9 「カナトフグ」	29.9%	(108名)
10 「夏ふく」	0.6%	(2名)
11 「一本槍(いっぽんやり)」「釣りケンサキイカ」	7.2%	(26名)
12 「博多もずく」	19.1%	(69名)
13 「糸島産ふともずく」	9.7%	(35名)
14 「あかもく」	29.9%	(108名)
15 「弘わかめ(ひろわかめ)」	4.2%	(15名)
16 「金印汐わかめ(きんいんしおわかめ)」	3.9%	(14名)
17 「筑前海加布里産天然ハマグリ(ちくぜんかいかりさんてんねんぼまぐり)」	4.4%	(16名)
18 「釣りあじちゃん」	6.9%	(25名)
19 「特鮮本鱈(とくせんほんざわら)」	1.1%	(4名)
20 「関門海峡たこ」	23.5%	(85名)
21 「アカウニ「海士の種(あまのきわみ)」	2.5%	(9名)
22 「スイゼンソリ」	13.9%	(50名)
23 いずれも知らない	4.7%	(17名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	4.2	4.1	0.0	0.0	2.5	3.4	1.9	3.5	3.4	3.8	3.4	4.7	3.8	5.0	6.7	6.2	5.3

○結果の概要

特に、「鐘崎天然とらふく」「カナトフグ」などは、昨年に比べ大きく認知度が向上している。

2(1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=1,421)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡のいちじく」	20.5%	(74名)
2 いちじく「とよみつひめ」	34.1%	(123名)
3 いちご「博多あまおう」	87.0%	(314名)
4 みかん「福岡みかん」	22.7%	(82名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	4.4%	(16名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	3.6%	(13名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	21.3%	(77名)
8 なし「福岡なし」	18.3%	(66名)
9 柿「福岡のかき」	23.0%	(83名)
10 柿「秋王」	9.7%	(35名)
11 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	10.0%	(36名)
12 キウイフルーツ「博多甘熟娘(はかたうれっこ)」	6.4%	(23名)
13 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	4.7%	(17名)
14 もも「福岡のもも」	5.0%	(18名)
15 すもも「福岡のすもも」	1.7%	(6名)
16 なす「博多なす」	26.0%	(94名)
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	50.4%	(182名)
18 トマト「博多のトマト」	11.4%	(41名)
19 レタス「福岡レタス」	10.2%	(37名)
20 なばな「博多な花おいしい菜」	6.4%	(23名)
21 きゅうり「博多きゅうり」	6.4%	(23名)
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	6.1%	(22名)
23 いずれも購入したことがない	4.4%	(16名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	4.3	3.3	0.0	0.0	2.5	3.2	2.6	2.8	2.3	4.0	2.6	5.5	3.1	5.7	5.7	6.9	4.1

○結果の概要

ぶどう「福岡ぶどう」、柿「福岡のかき」などでは、昨年と比べ購入経験ありの割合が大きく向上している。

2(2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉他)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=1,489)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉他)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 米「夢つくし」	71.7%	(259名)
2 米「元気つくし」	56.5%	(204名)
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	13.6%	(49名)
4 しめじ「博多ぶなしめじ」	38.8%	(140名)
5 えのきだけ「博多えのき」	20.8%	(75名)
6 めめりすぎたけ「博多すぎたけ」	1.1%	(4名)
7 「県産たけのこ」	12.7%	(46名)
8 「県産しいたけ」	7.8%	(28名)
9 緑茶「福岡の八女茶」	54.8%	(198名)
10 緑茶「八女伝統本玉露」	10.8%	(39名)
11 畳表「博多華織(はかたかおり)」	2.2%	(8名)
12 鶏肉「はかた地どり」	37.1%	(134名)
13 鶏肉「はかた一番どり」	37.1%	(134名)
14 牛肉「博多和牛」	12.2%	(44名)
15 牛肉「福岡牛」	5.3%	(19名)
16 豚肉「博多すいーとん」	3.3%	(12名)
17 獣肉「ふくおかジビエ」	1.1%	(4名)
18 「県産牛乳」	21.3%	(77名)
19 いずれも購入したことがない	4.2%	(15名)
	無回答 0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	4.4	3.6	0.0	0.0	2.0	3.6	3.0	3.5	3.0	4.1	3.2	5.2	3.5	5.2	4.7	6.5	4.9

○結果の概要

購入経験の有無については、人数・割合ともに概ね昨年と同様で推移している。

2(3) 県産農林水産物の銘柄(水産)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=717)

県産農林水産物の銘柄(水産)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 「福岡有明のり」	52.4%	(189名)
2 「豊前海一粒かき」	19.1%	(69名)
3 「糸島カキ」	26.9%	(97名)
4 「唐泊恵比須かき(からとまりえびすかき)」	3.6%	(13名)
5 「津屋崎干軒かき」	3.0%	(11名)
6 「若松妙見かき」	0.8%	(3名)
7 「豊前本ガニ」	3.9%	(14名)
8 「鐘崎天然とらふく」	2.8%	(10名)
9 「カナトフグ」	11.1%	(40名)
10 「夏ふく」	0.0%	(0名)
11 「一本槍(いっぽんやり)」「釣りケンサキイカ」	1.7%	(6名)
12 「博多もずく」	11.6%	(42名)
13 「糸島産ふともずく」	4.2%	(15名)
14 「あかもく」	15.2%	(55名)
15 「弘わかめ(ひろわかめ)」	2.5%	(9名)
16 「金印汐わかめ(きんいんしおわかめ)」	1.1%	(4名)
17 「筑前海加布里産天然ハマグリ(ちくぜんかいがふりさんてんねんはまぐり)」	0.6%	(2名)
18 「釣りあじちゃん」	2.8%	(10名)
19 「特鮮本鱈(とくせんほんざわら)」	0.0%	(0名)
20 「関門海峡たこ」	9.4%	(34名)
21 アカウニ「海士の極(あまのきわみ)」	0.8%	(3名)
22 「スイゼンジノリ」	3.0%	(11名)
23 いずれも購入したことがない	22.2%	(80名)
	無回答 0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	203	158	0	0	2	28	13	42	34	55	29	37	35	27	23	14	22
品目数	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.9	1.4	0.9	1.6	1.2	1.8	1.8	2.7	3.4	2.4	3.2

○結果の概要

購入経験の有無については、人数・割合ともに上昇傾向となっている。

3 生鮮食料品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 n=361 選択は1つのみ)

生鮮食料品を購入するとき、一番重要視すること	割合(今年度)	人数(今年度)
1 鮮度(色や匂いなど)	39.9%	(144名)
2 産地(国内産、県内産など)	33.5%	(121名)
3 銘柄(例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など)	1.7%	(6名)
4 栽培方法(有機栽培や減農薬栽培など)	4.4%	(16名)
5 価格	19.1%	(69名)
6 その他(次の設問で具体的に記入してください)	0.8%	(3名)
7 生鮮食料品を購入したことがない	0.6%	(2名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

- ・売っている店(大手スーパーやデパ地下に売っているならいい商品だと思って買う)
- ・安全で美味しいこと

○結果の概要

生鮮食料品の購入において、重視する点は昨年と概ね同様の結果となっている。

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 n=361 複数回答可 回答件数=1,060)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの	割合(今年度)	人数(今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	25.3%	(268名)
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス(試食宣伝)	8.0%	(85名)
3 パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	6.8%	(72名)
4 ポスターの掲示	5.9%	(63名)
5 宣伝用動画の放映等店頭でのPR	6.2%	(66名)
6 テレビCM、ラジオ番組でのPR	17.5%	(186名)
7 ホームページやソーシャルネットワークワーキングサービス(フェイスブックなど)を活用	9.7%	(103名)
8 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	7.6%	(81名)
9 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	12.8%	(136名)
10 1~9に当てはまるものがない	0.0%	(0名)
無回答	0.0%	(0名)

○結果の概要

認知度向上の取組みについて、効果的と思われる点は昨年と概ね同様の結果となっている。

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 n=361 選択は1つのみ)

県産農林水産物に関するその他のご意見	割合(今年度)	人数(今年度)
1 ある(次の設問で具体的に記入してください)	15.9%	(56名)
2 特になし	86.6%	(305名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他(抜粋)]

- ・県名をつけただけでは、インパクトがないので、あまりたべてみよう、買ってみようと思わない。名前は大事だと思う。その商品の特徴をいかけた名前は買っておいしければしっかり頭に残るし、覚えやすいので次回の購入度も、高いと思う。
- ・殆どの農林水産物に、福岡〇〇〇と福岡が付いているので、福岡が付いたものは、ここが良いということを確認にする(優位性として、味、育て方(生産)、みてくれ(いろ、姿)ことをして、認知を増やすのも大切だと思う。見たことはあるのかもしれないが、それに名前が付いているということに気がしていないので、知らないまま利用している可能性はある。
- ・他県に比べてブランドイメージが弱いように感じます。良いものも多いと思いますが、県民でもよく知らないものも多いです。まずは、県民がその産品を知って、口コミでも広めることができればと思います。
- ・学校給食に使用する
- ・東京に居た時はアンテナショップを良く利用したが、そう言う施設を県内各地に設置しても面白いのでは? 以外と近隣の品々しか知らない人が多い。
- ・パンフレットリーフレットなど触れる機会が少ない媒体は宣伝効果が薄いと思う。SNSの利用や、コンビニとのコラボは若い世代でも見る機会が多いので効果が高いのではないかなと思う。
- ・SNSやYouTubeを使って積極的にPRしてほしい。県内だけでなく他県にも知られるような、全国展開できるもの(あまおうなど)があれば、県の誇りになると思う。福岡の農産物は素晴らしいので、ぜひ話題になるような宣伝をしてほしい。
- ・芸能人にお気に入り紹介してもらおうが一番広まると思います。